

# 議会だより



この瞬間を全力で



## えりも高校祭

「この瞬間を全力で」のテーマのもと開催され、各学級がパフォーマンスなどを発表。  
2年生の2クラスは、それぞれ工夫を凝らしたダンスを披露。会場全体が熱気に包まれました。

### 目次>>

- P2 令和7年度 第3回定例会
- P3~6 一般質問 6名8件
- P7 所管事務調査
- P8 議会報告会「議員と語る会」

- P9 北海道町村議会議員研修会  
行政視察 白老町「ホッケ陸上養殖」
- P10 この人に聞く  
えりも町職員 保健師 たなか あやな 田中 恵菜 さん



# 6月25日 第3回定例会

## 補正予算

◎令和6年度  
一般会計(歳出)

・財政調整基金積立金

2070万4千円  
ふるさと納税寄付金の一部を積立

◎令和7年度  
一般会計(歳出)

・福祉センター費

76万5千円  
雨漏りが発生している福祉センターの屋上防水や屋根の修繕費用

・日高東部消防組合負担金

830万円  
故障した消防庁舎のボイラーの修繕費用



上空から見た「えりも小学校」の校舎

・小学校維持費  
2000万円  
えりも小学校1階屋上部分の防水シート等の補修工事費用



平成21年から使用した福祉バス

・福祉バス購入  
1238万8千円  
経年劣化した福祉バスの入れ替え費用

## 工事請負契約

・契約工事  
上幌橋補修工事

・契約金額  
5005万円

・契約先  
株式会社 ホロトラ建設  
興業

## 人事

・人権擁護委員の推薦

歌別 高橋 良司(72)  
再任

本町 牧野 恵(62)  
新任

・えりも町監査委員の選任  
新浜 小関 孝雄(76)  
再任

・えりも町副町長の選任

新浜 泉 紳一(64)  
再任

## 4月30日 第2回臨時会 財産の取得

・取得財産  
除雪トラック

・取得金額  
5555万円

・取得先  
UDトラックス北海道  
株式会社 苫小牧支店

## 工事請負契約

・契約工事

庶野テレビ中継局地上デジタル送信機更新工事

・契約金額  
5060万円

・契約先  
株式会社 NHKテクノ  
ロジーズ 札幌総支社

・契約工事

目黒地区緊急避難施設造成及び避難路整備工事

・契約金額  
8470万円

・契約先  
坂田組土建 株式会社

# 一般質問

一般質問は、議員にとって、住民から重大な関心と期待を持たれる大事な議員活動の場です。町政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求め、議員自らの政策提言を行い政治姿勢を明らかにするものです。

## 問 高校生までの医療費 無償化の導入時期は

## 答 早い段階での 実現を検討



中野公浩議員

【中野】 大西町長は、町長選挙当選後の北海道新聞の取材の中で「高校生までの医療費無償化に取り組む」と応えている。この件に関してでは町民の要望もあり、過去に3回質問した。

高校生までの医療費の無償化の具体的な導入時期は。

【答弁】 札幌市が4月受診分より、旭川市が8月受診分より高校生までの無償化対象を拡大するとされるなど、徐々に制度導入が進められていると認識している。国などが進める少子化対策によって活用できる財源も考慮しつつ、できるだけ早い段階での実現を図るよう検討を進めていきたい。



早期に医療費の窓口負担が軽減されることを期待する

## 問 選挙結果の 受け止めは

## 答 結果については 真摯に受け止める



竹内孝文議員

【竹内】 5月25日に行われた町長選挙は、大西候補が石川候補を428票差で破り当選を果たしたが、得票率は大西候補57%に対し、石川候補42%で僅差の決着となった。この42%は、大西町政8年間に對する町民の不満の声ともとれるが。

【答弁】 選挙結果は、決して僅差とは思っていない。支持率が60%に届かなかつたことに関しては、真摯に受け止めなければならぬという思いである。

一方、投票率が低かつたことに関し、町長選にあまり関心がなかつた有権者がいたとすれば、そのことも憂慮されることである。

これまで子どもや高齢者の負担軽減など、直接町民にかかるソフト面を重視した施策に取り組んできた。

これらの取り組みがあまり町民に伝わらなかつたのか、また、町長として私に對しての不満なのか、若しくは行政全般に對しての不満なのか、今後自分なりに考えていきたい。

【竹内】 石川候補が得票した42%の声を、

【答弁】 色々な町民の考え方があがるが、今回の選挙は候補者同士の選挙だと思つていい。

【竹内】 選挙結果は大西町長一人の結果ではなく、町長が任命した副町長、教育長も含めた結果と認識しているが見解は。

これからの4年間でどのように町政に活かしていくか。



町長選挙の投票率は80.38%で2017年と比べて5.46ポイント低い



嵯峨直樹議員

# 問 これからの観光振興は

# 答 DMOの登録認可を進める

【嵯峨】 町のホームページに公式SNSのリンクがあるが、あまり更新されておらず、観光情報もほとんどない状況だ。SNSはリアルタイムに情報が更新される大事なツール

であると考えている。また、観光協会の活動休止が報道されたが、これからの観光振興をどのように牽引するの

【答弁】 町の基幹産業である漁業や豊かな自然景観といった観光資源を最大限活用し、交流人口の拡大と地域経済の活性化を戦略的かつ継続的に推進する。そのため、DMOの登録認可を進める。

【嵯峨】 DMO登録に向けてのスケジュール計画は。

【答弁】 本年9月以降に観光振興計画作成に向けた業務委託契約の締結を予定し、素案の作成、パブリックコメントの実施、計画策定委員会の開催等を経て、令和8年秋をめどに完成させ、登録認可を進める。

**DMO（観光地域づくり法人）とは…**  
魅力的な観光地として、特定の場所を宣伝する組織。官民の幅広い連携によって観光地域づくりを推進する法人。

【嵯峨】 SNSの運用方法は。

【答弁】 各種イベントの情報発信のほか、キャンプ場や風の館等、リアルタイムな情報発信を地域おこし協力隊や民間事業者と協議しながら、積極的に発信できるように体制づくりを検討する。



灯台公園に設置された横断幕。さらなる観光振興が望まれる

# 問 福祉センター改修の計画を

# 答 具体的な時期や内容の検討を始める

【嵯峨】 2年前、福祉センターの改修について質問をしたが、その答弁で17年後に耐用年数を迎えることあった。2年が経ち、町の総計画策定の年度を迎えるが、改修を具体的に盛り込むのか。段階的に照明・音響等を更新していくことで長期間休止せず、利用者にとって不便をかけるこ

となく進めていけると思うが。【答弁】 当町における町民の生涯学習活動の拠点としてなくてはならない施設であり、耐震化を含む改修は喫緊の課題と考

令和8年度から新たな10年間の第7期総合基本計画には、耐震化を含む大規模改修を盛り込むとともに、今年度から関係課とも協議を進めながら具体的な時期や内容の検討を始める。【嵯峨】 ロビーの活用について、現在、簡単な打ち合わせや休憩に活用されているが、スペースをもっと有効に活用できるのでは。ポスター掲示板を取り除き広さを有効に使



大改修とともに有効活用が望まれる福祉センターのロビー

い、ソファを増やして「ひなた」や「町民体育館」の休館時、子どもたちが集える場所にしてはどうか。【答弁】 ポスター掲示板への掲示内容が町民に必要な情報なのか精査し、枚数を減らすか、または別の場所へ移動するなど、設置しているソファの対応と併せて活用を考えていく。この件も含め、大規模改修の検討を進めていきたい。



神田 修議員

## 問 林野火災後の町の対応は

## 答 野火の防止徹底を広く周知

のように講じたのか。また、罰則の対象にならないのか。

**【答弁】** 本件は、大和地区民有林内で、猟友会準会員の町外ハンターが狩猟時に使用した爆竹の不始末によって野火が発生し、約0・5ヘクタールを延焼した。

町は、消防署とともに、有害駆除や狩猟期間に山に入るハンターやハンター以外の方々に対し、火の不始末による野火の防止徹底を広く周知するとともに、注意喚起を行う必要があると考えている。

また罰則については、他人の土地に損害を与えたケースに該当すると思われ、刑事上や民事上の責任が問われる可能性がある。

【神田】 本年3月23日当町で発生した林野火災は、シカ狩猟時の爆竹が原因と聞いている。町は再発防止策をどう

【神田】 本年2月の大船渡市林野火災のように、大規模火災となり、万が一、日高山脈襟裳十勝国立公園に広

がった場合を想像すると、大きな不安をいだいた。

町独自の規制条例や道、道猟友会などへ働きかけるなど、もっと強い対策をするべきでは。

**【答弁】** 狩猟や町が委嘱している有害駆除では、シカの効率的な捕獲のために爆竹を使用している。

規制については、気象状況や乾燥注意報などに配慮しながらの使用をお願いしていきたい。



林野火災発生時には消防車4台、団員12名、職員10名が出動した

## 問 町の観光振興の今後の方向性は

## 答 DMOの設立を早急に進める

**【大場】** 国立公園化が実現し6月で1年を迎え、これから観光客の誘致に力を入れていかなければならない大切な時期に、えりも観光協会が人材と資金不

足を理由に活動休止を発表した。

コロナ禍で停滞していた観光客数も上向いてきており、これからという時期に町の観光業界をまとめ、牽引する組織がないことは大変な問題であり、新たな体制を作り観光振興を進めていくことは急務であると考えている。

行政や町民と連携が取れた、広いビジョンを持った観光組織づくりを町としてどのように考えているか。

**【答弁】** 日高山脈襟裳十勝国立公園が誕生し、町をあげて観光に取り組まなければならないこの時期に、観光協会休止は非常に残念である。

町としては、基幹産業である漁業や豊かな

国立公園化により襟裳岬への観光客数も増加している



大場文裕議員

DMOとは(4ページ参照)

自然景観を最大限に活用し、イベントの開催やキャンプ場、風の館の運営など各種施策を進めたうえで、交流人口拡大と持続可能な地域経済の活性化に向けて、DMOの設立を早急に進めたいと考えている。



大坂庄吉議員

## 問 笛舞小学校の後利用は

## 答 地域の意見も聞き 慎重に検討する

【大坂】 笛舞小学校閉校後の利用について、5月27日に地域との懇談会が開催され、引き続き協議を進めていくということだが、校舎を保育所として利用してはどうか。

中央保育所は、津波浸水区域内で危険であり、安全な保育運営のために、笛舞小学校舎が適していると思うが。

【答弁】 懇談会では、合宿施設、宿泊施設、水族館、認定こども園等の意見が出された。

中央保育所の移転については、笛舞小の校舎は、教室の広さは基準をクリアしているが、保育所全ての機能を一つの階に集約することができなく、給食調理室も現状の設備では提供食数を賄えない等、ある程度の整備は必要となる。

また、移転については現時点での状況で判断するのではなく、町全体の未就学児童に対する中長期的な展望をもって考える必要がある、保護者等の意見も聞きながら慎重に検討していきたい。

【大坂】 校舎2階に防災備蓄品が保管してあり、保育所になった場合でも避難場所として利用でき、地区住民にとっても利便性があると思うが。

【答弁】 笛舞地区の最大津波高は21・5メートルと示されており、校舎は18・3メートルで、一階部分は浸水する想定である。

将来的には津波浸水想定区域外に避難施設を整備する必要があるが、防災備蓄品の保管は現状のままとしたい。



閉校後に様々な後利用が考えられる笛舞小学校の校舎

【大坂】 令和9年4月1日より、町立認定こども園の開設が検討されている。

認定こども園は、幼稚園と保育所の機能を併せ持ち、保護者の就労の有無に関わらず教育と保育を受けられる施設である。

開設には賛成だが、津波浸水区域内にある「中央保育所」を活用

することに不安を抱くが。

【答弁】 今すぐの施設の建て替えは難しいが、新築移転等も考えていないわけではない。

【大坂】 認定こども園に移行した場合の保育料は。

【答弁】 保育施設の利用者負担額は、国が定める基準を上限に市町村が定めることになっている。

町の保育料は、国基準のほぼ半額に設定し、近隣町と比較しても概ね低い料金設定となっている。

認定こども園に移行した場合の利用者負担額についても、現在の考え方を引き継いだ設定にしたい。

津波浸水区域にある中央保育所。早期の対応が求められる



【大坂】 認定こども園施設整備に関する補助金はあるか。

【答弁】 補助金はない。過疎対策事業債等の地方債を活用できないか検討中である。

# 所管事務調査

総務文教常任委員会	産業民生常任委員会
委員長 橋本維応	委員長 ー
副委員長 神田 修	副委員長 中野公浩
委員 川村一治	委員 成田一人
竹内孝文	上野陽司
大場文裕	嵯峨直樹
議長 高松亮裕	

調査日 令和7年5月15日（木）

## 百人浜オートキャンプ場の管理棟改修について

百人浜オートキャンプ場の管理棟が本年度に改修されることから、改修前の状況を把握するため現地において調査を行った。

平成2年に建設された管理棟のトイレが和式のみであるため、多くの利用者から改善要望が出されており、国立公園化に伴い更なる来訪者の増加が見込まれることから、改修を進めることとなった。

改修内容は、トイレをすべて洋式化し、シャワー室はより清潔で使いやすいユニット式になり、すべての照明がLED化される。また、地産地消の促進と町内経済の活性化を図るため、町内産の食材を活用した軽食や飲料の提供、さらには魚介類を販売するコーナーも新たに設置される。

工期は8月29日までとなっているが、より快適で魅力的なキャンプ場となることが期待される一方、周辺のパークゴルフ場やちゃっぷの利用、悲恋沼方向への散策に至る観光客の動線も考慮した一体的なエリア設計も検討していただきたい。



改修が行われる「管理棟」



和式トイレは「洋式化」される



事務室は軽食を提供する厨房等に改装

## 国立公園化のPRについて

昨年10月に、日高山脈襟裳十勝国立公園化の今後の取組について調査を行っているが、本年度の計画と悲恋沼の遊歩道計画について、その進捗状況を確認するため調査を行った。

本年度は、情報発信の強化として「国立公園ポスター・パンフレットの作成」「近浦・目黒地区のPR看板の改修」、景観整備として「灯台公園横の花壇整備」、誘客促進及び利便性向上として「キャッシュレス決済キャンペーン事業」に取り組む予定である。

襟裳岬の旧レストハウス跡地の活用は、跡地が林野庁に返却されており、立地的にも冬場の環境が非常に厳しい場所にあることから、町が主導して活用を推進していくのは難しいということであった。また、ビジターセンターについては、国は新設を考慮せず、えりも町の「風の館」、様似町の「アポイ岳ビジターセンター」、中札内村の「日高山脈山岳センター」の3か所を、国立公園内にあるビジターセンター的な施設と位置づけている。

悲恋沼の遊歩道は、木道の腐食により通行止めとしているが、補修は難しく、新設する場合は5,000万円程度の予算が必要となる。

担当課としては、遊歩道はキャンプ場までの動線として整備が必要という考えである。対応にはまだ時間がかかると思われるが、せめて悲恋沼が近くで見られるよう、木道の手前まで草刈りを行ってほしい。



悲恋沼から望む日高山脈

## 令和7年度 議会報告会

# 議員と語る会

今年度の「議会報告会・議員と語る会」を6月23日、「えりも高校」で実施しました。

この日の放課後、視聴覚室にて、生徒会を中心とした生徒10名と議員11名が2班に別れ、対面形式で生徒から出された質問・意見などを各議員がそれぞれの考えで受け答えしました。

高校生から出された要望は議会で検討し、町へ要望できるものは積極的に要望することを確認しました。

### 《参加者》

なかの しろう  
中野 司郎さん（1年）

ささき ゆうしん  
佐々木 勇泰さん（3年）

かぶとや らいち  
甲谷 來知さん（3年）

わたなべ るな  
渡部 瑠菜さん（3年）

うえき あおい  
植木 葵さん（2年）

むらた ゆきと  
村田 恭乙さん（3年）

さかもと そうた  
坂本 蒼太さん（3年）

いわま ゆきひろ  
岩間 幸広さん（3年）

おさない たいち  
小山内 太一さん（3年）

ねんだい りゅうせい  
年代 琉聖さん（3年）

### 《質問・要望事項》

- ・ 役場で働いている人数は
- ・ 議員の主な仕事は何か
- ・ グラウンドの凸凹を直して
- ・ 高校に避難用の食料や布団はあるか
- ・ 小中高にエアコンの設置を
- ・ 道の駅は考えているか
- ・ 議員として政府に不満はあるか
- ・ 町の自動販売機の数や種類を増やしてほしい
- ・ えりも町の現状をどのように考えているか
- ・ これからのえりも町がより栄えていくために、どのような取り組みが必要か
- ・ 浦河町の体育館は改装されたが、えりも町の体育館はどうか
- ・ えりも町の観光資源は本町以外の地区にあるが、観光客が本町にも寄るよう促す策はあるか
- ・ えりも町にコンビニなど新たにお店を設置する予定はあるか
- ・ 廃校になった小学校をどのように活用していくのか
- ・ なぜえりも町のごみ袋の値段は他町と比べて高いのか
- ・ 検定料を半額以上補助するのは可能か
- ・ 検定半額補助を実施してから検定を受検する児童生徒は増えたか
- ・ 一部から検定の半額補助より、合格した人に全額補助をした方が良いという意見もあるが



質疑終了後は、フリートークで懇談。

議員側から町予算の説明等。高校生からは普段の高校生活での改善点・問題点を聞くことができました。

参加していただいた高校生の皆さん、ありがとうございました。

# 7月8日：北海道町村議会議員研修会

令和7年度「北海道町村議会議員研修会」が7月8日に札幌コンベンションセンターで、当町議員10名をはじめ、全道各地から1640名の参加のもと開催された。

第1講目は、西南学院大学法学部教授の勢一智子氏の「地方議会における議員の多彩化に向けて―地域社会の「鏡」としての議会を考える―」。

勢一氏は、町村議会議員の86%が男性であり、75%が60歳以上であることなどから、女性による模擬議会を開催している事例やジェンダーギャップ指数が北海道は低いことなど女性が活躍できる社会が大切であることを説いていた。

第2講目は、人口戦略会議副議長で元日本郵政(株)社長の増田寛也氏の「人口減少社会を生き抜くために」。

増田氏は、町村業務を身軽にして勉強は広域で行う「北海道モデル」の提案、地方創生1・0(2015年〜)と2・0(2025年〜)を比較し、この10年で想定をはるかに上回る人口減少が続いている中でも経済成長、地域社会を維持する施策の事例などをもとに東京の一極集中の格差是正を国に要望することが必要であると力説した。研修を通じ、新たな気づきがあり、今後の議員活動に生かしていきたいと強く思った。(嵯峨)



# 7月9日：行政視察 白老町「ホッケの陸上養殖」

白老町役場を訪問し、「ホッケの陸上養殖」について説明を受けたのち現地視察を行った。

白老町の水産業は、スケトウダラや秋サケ等といった沿岸漁業を中心に漁業者の経営を支えてきたが、近年の海洋状況の変化の影響により、主要魚種の漁獲量の減少等不安定な漁家経営を招いていることから、海洋環境に左右されない新たな試みとして令和6年度から3年をかけて陸上養殖に取り組んでいる旨の説明を受けた。

## なぜ「ホッケ」だった？

ホッケは北海道を代表する魚で、知名度によるアドバンテージがあり、養殖魚の場合は食中毒(アニサキス症)のリスクが少なく、刺身での提供が可能とのことであった。

養殖施設はタラコ加工場跡地の一角を利用、閉鎖循環方式による5トンの円筒型水槽1基、小型の泡沫分離装置など必要最小限の機材を整備し、親魚はいぶり中央漁協から天然ホッケ40匹を搬入し試験飼養を開始した。

昨年9月から10月にかけて採卵し約15,000尾が孵化したが、5月現在は約350尾程度を飼養中とのことであった。

当町においても、温暖化や赤潮被害の影響は未だ回復しておらず、陸上養殖の可能性を含め検討する余地があるのではと考えさせられた。(中野)



体長15cmまで成長したホッケ

# この人に聞く

えりも町職員 保健師

たなか あやな  
田中 恵菜さん (23)



2002年4月30日生まれ。校舞出身。えりも高を校目護を卒業後、保健師を看指し札幌市立大学看護学部に入學。卒業後、新規採り大学を卒業後、今年より福祉課大用として保健師として活躍中。

▼えりも町に就職を決めた経緯は

小学生のころから、生活の中で地域の方々に支えられていた印象がありました。高校での進路活動を通して、えりも町の保健師さんにお世話になり、地域の方々に寄り添う姿を見て、自分

もこんな保健師さんになりたいと強く思い、大学に進学しました。

大学では、都市部の保健師活動を見学する機会もありましたが「地域の方々とのつながりが強い」という良さを持つえりも町で働きたいという思が強くなり、故郷で保健師になることを決めました。

保健師として活動するうえで、たくさんの人に支えていただいている実感がありません。非常に心強く、やはりこの町が好きだなと思っています。

▼仕事の内容は

町民の方々の健康と生活を支えるため、健康診断・がん検診や保健指導、家庭への訪問、予防接種などに従事しています。

▼これからの目標は

たくさんさんの学習と経験を重ねて、先輩たちのような頼りがいのある保健師になりたいです。町民の皆さん

にとっても、心強い存在になれるよう頑張ります。

▼仕事以外でやりたいことは

小さい頃から音楽が大好きで、小学校1年生からピアノを習い始め、中学校では吹奏楽部でサクソフ、高校では軽音楽部に所属しギター、ベース、ドラムなど様々な楽器に挑戦してきました。

演奏を聴いた方が喜んでくれるのが嬉しくて続けてきたので、町を盛り上げるために音楽活動を再開させたいと考えています。今はギターを弾きたいですね。



高齢者教室での血圧測定の様子。談笑しながら健康状態を確認

▼えりも町民へ一言

これまでたくさん支えていただいた分、私も皆さんを支える一員になれるよう、精一杯頑張ります。よろしくお願いします。

(取材 嵯峨・大場)

## 議員雑感

台風(5号)が道内に9年ぶりに上陸し、波の高さが7メートルに達すると報道され心配しましたが、強風や大雨の被害もなく安心しました。

台風一過の後、浜は拾い昆布の姿が多く見受けられにぎやかでした。

昆布採取の季節となり、各学校は夏休みに入り、子どもから高齢者まで手伝いとなり、忙しさを浜も活気づいていると感じています。暑い日も続くので熱中症に注意して、水分補給して作業してください。

8月は「灯台まつり」が開催されます。楽しみもありますから、自愛ください。

(大坂)

## 議会の動き

4月30日	第2回臨時会
5月15日	二常任委員会合同所管事務調査
6月13日	全員協議会 議会改革特別委員会
6月14日	札幌えりも会
6月18日	全員協議会 議会運営委員会
6月23日	議会報告会「議員と語る会」
6月25日	全員協議会 第3回定例会 広報広聴常任委員会
6月27日	北海道中央牧場えりも農場視察
7月8・9日	全道議員研修 行政視察
7月15日	広報広聴常任委員会
7月22日	第4回臨時会 全員協議会 広報広聴常任委員会

### 広報広聴常任委員会

委員長 竹内 孝文  
副委員長 上野 陽司  
委員 大坂 庄吉  
中野 公浩  
嵯峨 直樹  
大場 文裕